

南房総市観光プロモーション協議会 令和8年度 全体会議 議事録概要

■令和8年度 全体会議

- 日 時：令和8(2026)年9月29日(火)
13:30～16:30
- 場 所：とみうら元気倶楽部 交流室3・4
(南房総市富浦町原岡88-2)

■出欠席数

- 観光関係事業者：38名
- 南房総市役所：5名
- 観光庁：5名



■ 議事

① 近況報告

【堀江会長】

- ・ 6/23に観光庁のDMOの会議があり、内容の報告があった。
DMO会議では沢登次彦先生が講師を務め、2040年観光の未来予測について講演をした。約15年後の日本社会全体の変化は、日本人人口1300万人の減少や65歳以上が35%を占める事、東京の一極集中が加速すること、全世帯の約40%が単独世帯となること、AIネイティブ世代等が挙げられた。
- ・ 台風25号によるシルバーウィークの宿泊施設への影響についても報告があった。

【観光協会・多田氏】

- ・ 南房総市観光協会観光地経営戦略プランについて説明があった。
観光地経営戦略を作成する理由や、観光客の実態、目指すビジョン、観光付加価値の高め方、当市の強みや弱みを分析した環境分析、戦略マトリクス、これから目指す数値目標（KGI、KSF、KPI）、これからの取り組みについての説明があった。

【東日本旅客鉄道株式会社・佐藤氏】

- ・ 台風25号に係るJRの運行状況及び確認方法について説明があった。
確認方法については、WEBサイト「どこトレ」にて運休等の状況が確認できる。

② 講演会 講師：オフィスアツシタカハシ代表 高橋 敦司によるご講演。演題「観光で持続可能な地域をつくる」

- ・ 千葉でディステーションキャンペーン（H19）や、波の伊八、キンセンカ使った料理（天ぶら）等の高橋先生が取り組んできたことへの説明があった。「観光でこのまちを持続させる」なぜ観光が必要なのかを基軸に講演された。
- ・ 出生率80万人割れは2035年のはずが10年近く早まっている。南房総市では2020年から2024年で▲12,865人。千葉県内でワースト5位。今の地域は稼がないと暮らせない。「少子高齢化→生産人口の減→地域で稼げなくなる。→地域の外に出ないといけない→少子高齢→生産人口の減…」のような負のスパイラルを止める事が必要。止めるには、人口の増・関係人口の増が必要。その為には知ってもらうことが必要。（知りたい・行きたい・住みたい）
- ・ 沖縄では小学校4年生で観光の授業がある。また、秋田県仙北市でも、小学生に桜の町の案内人をさせている。小学生のうちから自分の市の桜が世界的に人気あることが実感できる。
- ・ 広域でみることが大事。NY～ナイアガラは630km離れているが、行く人が多い。鎌倉や新潟のGALAスキー場は、外国人に人気。外国人は東京の一部だと思っている。南房総市も東京から90分で来れるという強みがある。
- ・ プロモーションについては、データが大事。AIは過去のデータ等も含めて検索する。例えば、インターネットで「AKITA」と検索しても秋田犬がでてくる。これを利用し秋田県では秋田犬を全面に出してPRをしている。検索に引っかかるようにPRすることが大事。

■質疑

【長島氏】 TRAIN SUITE四季島が和田浦駅に来たときは、何を見ましたか。また、くじらは強みとなるか。

→日の出が目的。WA・O!も特別に開けてもらい、買物もした。くじらは強みとなる。

【児玉氏】 データ取得にお金がかかる。DMOの更新、取得にもデータが必要だが、高額である。県で取得し、市町村へ配布するように言ってほしい。

→データの必要性含めすでに言い続けている。今後も伝えていきたい。

【佐藤氏】 リピーターの確保が大事だと考えている。また、新規事業等の進め方のアドバイスをいただきたい。

→アンケート等をデータで残すことが大事。また、客からのコメント欄はき貴重な意見のため、残しておくべき。

【高木氏】 データはもっているが、使い切れていない。活用方法を教えてほしい。

→みんなでデータを見る事が大事。観光協会だけでなく、様々な人がみて感じたこと等をまとめていく。

■その他

・【観光庁】

人口減少を止めるのは難しい。今は地方で稼ぐことが大事。

みんなが地域を良くするために、自分たちでデータ分析することが大事。

今回の会議のように、地域全体が観光の大切さを学ぶとても良い機会。他の地域でもやるところが増えてほしい。